

定例公演

6月3日(水) 午後1時開演

狂言【大蔵流】

呂蓮

シテ/出家 松本 薫
アド/宿主 茂山 千五郎
アド/妻 島田 洋海

氷室

能【金春流】
前シテ/氷室守の翁 櫻間 右陣
後シテ/氷室の神 伊藤 真也

後ツレ/天女 北山 春彦
ワキ/臣下 福王 知登
ワキツレ/從者 矢野 昌平
ワキツレ/從者 村瀬 慧

アイ/社人 茂山 千之丞
アイ/社人 茂山 茂
アイ/社人 茂山 千之丞

小鼓 幸 正昭
大鼓 原 岡一之
太鼓 中田 弘美

岩間啓一郎 井上 貴覚
中村 昌弘 本田 光洋
渡辺 慎一 山井 綱雄

立本 夏山 本田布由樹

終演予定午後3時30分頃

普及公演

6月13日(土) 午後1時開演

解説・能楽あんない

中将姫受難の物語

高橋 悠介

(慶應義塾大学附属研究所斯道文庫教授)
※解説の字幕表示はございません。

貫智

シテ/男 大蔵 彌右衛門
アド/夫 大蔵 教義
アド/妻 上田 圭輔

雲雀山

能【観世流】
シテ/中持姫の乳母 寺井 真悠子
子方/中持姫 坂井 英志

ワキ/横領右大臣豊成 則久 弘志
ワキツレ/中持姫の從者 野口 能弘
ワキツレ/豊成の從者 御厨 誠吾

アイ/鷹匠 大蔵 基誠
アイ/大遣 大蔵 誠
アイ/勢子 富田 昌美

後見 観 白坂 正博
大鼓 曾 和行
小鼓 栗 林祐輔

武田 宗典 大松 洋一
武田 文志 藤波 重彦
坂井 音隆 関根 知孝
岡庭 祥大 下平 克宏

終演予定午後3時45分頃

定例公演

6月19日(金) 午後6時30分開演

※5月から開演時間を変更しました。

吹取

シテ/男 深田 博治
シテ/何某 内藤 晴夫
アド/乙 月崎 夫

頼政

能【喜多流】
前シテ/老人 友枝 昭世
後シテ/源頼政の霊 福王 茂十郎

ワキ/旅僧 野村 萬斎
ワキ/所者 藤田 次郎
アイ/所者 野村 萬斎

後見 中 國川 純
友 枝 真也

佐々木多門 友枝 雄人
内田 成信 長島 茂
金子敬一郎 香川 靖嗣
大島 輝久 狩野 了一

終演予定午後8時45分頃

能楽鑑賞教室

6月23日(火)~27日(土)

午前11時開演・午後2時開演

解説・能楽のたのしみ

23日 坂 真太郎
24日 小島 英明
25日 観 喜正
26日 鈴木 啓吾
27日 佐久間 二郎

仏師

23日 野村 拳之介
24日 野村 万蔵
25日 野村 万蔵
26日 野村 万蔵
27日 野村 万蔵

葵上

23日午前・27日午後 観 喜正
23日午後・27日午前 鈴木 啓吾
24日午前 小島 英明
24日午後 佐久間 三郎
25日午前 長島 耕三
25日午後 坂山 真太郎
26日午前 桑田 貴志
26日午後 桑田 貴志

能楽研修発表会「第40回青翔会」

6月16日(火) 午後1時開演

舞囃子「弓八幡」「東岸居士」「船弁慶」
狂言【和泉流】清 水 奥 悠輔
能【観世流】羽 衣 関根 祥丸

正 面 20000円
脇 面 13000円/学生 9000円
中 正 面 10000円/学生 7000円
* 字幕表示はございません。

呂蓮 宿の主人が旅の僧に、自分を出家させてほしいと熱心に頼みます。僧は望み通り出家させてやり「呂蓮坊」の名を授けます。そこへ事情を知らぬ主人の妻が帰宅し...

氷室 丹波国(京都府)の氷室山を訪れた臣下の前に、氷室守の翁が現れその由来を語ります。やがて氷室の神が姿を現し、水を献上する水調の祭りの様子を見せま...

貫智 酔った勢いで妻を家から追い出した男は、妻の実家へ迎えに行きます。男は「娘はいない」と言い張りますが、子が母を恋しがっていると聞くと、隠れていた妻が現れて...

吹取 月夜に五条大橋で笛を吹くと妻を授かるという観音様のお告げを得た男は、笛が吹けないので代わりに友人に吹いてもらいます。すると本当に女が現れ男は喜びますが...

頼政 宇治を訪れた僧の前に源平の合戦で敗れた源頼政の霊が現れ、戦の有様や自害した最期を語ります。前場の寂とした宇治の情景描写も美しい、「平家物語」に取材した世阿弥作の修羅能です。

仏師 仏師と偽り田舎者に仏像を売ろうとするすっぱ(詐欺師)。自ら仏像になりすましますが、田舎者は印相(手の形)が気に入らないと言いついて...

葵上 六条御息所の憤りと哀しみ
葵上 光源氏の正妻・葵上は、六条御息所の嫉妬の怨念により病に伏せます。病床に現れた御息所の生霊に横川の小型が立ち向かいます。激しくも哀しい愛を描く名作です。